

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)		
事務事業名	青少年相談室管理運営経費	事業番号	185
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	児童・生徒、保護者、学校、地域住民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	青少年の健全な育成を助長するため、関係する各機関及び団体との連絡・協力を図りながら、児童・生徒の非行や不登校、いじめ、自殺などの悩みや苦しみなど、場面に応じて有効適切な指導、助言を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	不登校やいじめ、非行、学業、進路相談や家庭内での子育てなど、多岐にわたる相談内容に対し、来室や電話での相談はもちろんのこと、学校、関係機関へ訪問しての相談活動により、青少年や保護者等が抱える悩みや不安の解消に重要な役割を果たしている。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 年間街頭補導活動実施回数	15回	15回	15回	15回	12回	8回	15回	15回
2								
3								
4								
事業費 (=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
		1,066		952		1,102		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,066		952		1,102		
人員(人工)		0.17		0.17		0.17		
職員人件費 (=人員(人工) × 7,673 千円)		1,304		1,304		1,304		
総事業費 (=事業費+職員人件費)		2,370		2,256		2,406		
単位コスト実績値 1 (=総事業費÷成果実績値)		296		282				
単位コスト実績値 2 (=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	近年、各家庭において急速に普及したSNS関連に起因する生活習慣の乱れや、個人情報の漏洩によるいじめ、不登校など、青少年問題を取り巻く環境はこれまでも増して複雑多様化しており、そうした問題に対して柔軟かつ適切に対応できるよう、青少年健全育成に関する各種会議で情報共有しながら取り組むとともに、家庭、地域、学校や関係機関との情報交換や連携強化を図っている。
今後の動向・市民ニーズなど	青少年に関する問題等については、多岐にわたることから、専門的な知識・経験を持つ相談員が常駐し、青少年自身や保護者が抱える悩みの解決に向け、各関係機関と連携を図り、次代を担う青少年の健全育成を推し進めるためにも、青少年相談室の業務については、市民ニーズは高い。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	いじめや不登校、学業不振などの問題等を解決するため、家庭、学校及び関係機関と連携しながら相談や指導を行い、相談室が青少年や保護者の心のセーフティネットとして機能することにより、青少年の健全育成が図られている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 相談の解決に向けて、保護者、学校、公共機関及び関係団体等との連携協力や情報交換などが必要不可欠であるとともに、個人情報保護の観点から市が実施すべきと考える。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 近年の急速な生活環境の変化により、青少年が抱える問題も複雑多様化していることから、本人、家庭及び学校等に対して、その状況にあった適切な相談や指導が行える体制づくりを継続していくことが必要と考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 必要最小限の事業費で事業展開しており、今後においても状況に応じて効率的且つ効果的な事業の実施を引き続き図っていきたいと考えている。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 青少年自身や保護者が抱える悩み等の相談業務が主体であり、その目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似した事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 家庭、学校及び関係機関と連携し青少年健全育成を推進しております。また、公的機関が実施する相談業務等について、受益者負担を課することは馴染まないことから、公費で実施することが適切であると考えている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)			
事務事業名	放課後教室管理運営経費	事業番号	372	
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分
				<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の児童
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会及び登録児童会の運営並びに放課後子どもプラン事業の実施により、学校や地域の協力を得ながら、放課後等における児童への遊びや生活の場を提供するとともに、健全育成に必要な学習や活動の実施	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	保護者の就労や疾病、介護等により昼間家庭での養育を受けることができない児童をはじめ、すべての児童が放課後等に安心・安全な居場所を確保できるほか、様々な体験活動や交流活動等を通じ、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となることから、自主性・社会性及び社会性の向上と基本的な生活習慣の確立により、子どもの健全育成を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 地域ボランティア人数	4人	3人	3人	4人	4人	0人	10人	10人
2 放課後教室における実施事業数	101回	101回	118回	134回	111回	59回	110回	110回
3 放課後教室における実施事業参加者数	4,589人	4,331人	5,512人	5,810人	5,080人	2,541人	5,000人	5,000人
4								
事業費(=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
		103,218		46,327		52,361		
内訳	国道支出金	23,293		20,837		24,895		
	地方債							
	その他	212		87		97		
	一般財源	79,713		25,403		27,369		
人員(人工)		2.00		2.00		2.00		
職員人件費(=人員(人工)×7,673千円)		15,346		15,346		15,346		
総事業費(=事業費+職員人件費)		118,564		61,673		67,707		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		-		-				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		2,010		1,045				
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)		47		24				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	留守家庭児童会等の入会児童及び支援を要する児童の利用増加により様々な課題が生じていることから、登録児童の定員や指導員の配置について適正化を図り、拡充や合理化等必要に応じた対応をしているが、今後においても児童の利用状況等を見ながら、引き続き適正な対応を検討したい。
今後の動向・市民ニーズなど	子育て世帯の核家族化や共働き世帯、ひとり親世帯が増加しているほか、ワークライフバランスや働き方改革等の推進により、子どもを持つ保護者からのニーズはさらに高まっていくことが予想され、留守家庭児童会等や放課後教室等の利用は、今後も増加すると考えられる。

5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	少子化や核家族、地域の遊びの場の減少等により、子どもたちを取り巻く教育環境が変化しているなか、本事業は子どもたちの心身の健康増進や情操を豊かにし、また、保護者が安心して働ける環境づくりにも寄与していることから、家庭と仕事の両立が必要な子育て世帯への支援につながっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	■可能 □一部可能 □不可能 本事業は、放課後等における子どもたちの安心・安全な居場所づくりや健全育成を目的としており、家庭をはじめ、学校や関係機関との連携が不可欠であるため外部委託は馴染まないが、他の地域では外部委託を実施している自治体もあるなど、制度上では可能である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	□ある ■一部ある □ない 少子化により対象児童が減少する一方で、留守家庭児童会等の入会児童数や放課後教室等の利用児童数が増加していることから、入会児童の定員、指導員の配置数及び活動スペースの確保等について、適正な見直しが必要であると考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある □一部ある ■ない 留守家庭児童会等の入会児童数や放課後教室等を利用する児童数の増加に伴い、管理運営経費も増加しており、コスト削減については難しいと考えられるが、今後においても創意工夫をもって効果的かつ効果的な事業の実施を図っていきたい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 放課後児童健全育成事業に関する事業と類似する事業がないことから、他の事業との統合は難しいものであると考える。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある □ない ■既に負担がある 放課後教室等で実施する行事の経費を一部負担いただいております。子ども・子育て支援事業計画の基本理念に基づき、これ以上の負担は求めるとは考えていないと考える。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	■現状のまま継続 □見直しのうえで継続 (□拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)		
事務事業名	子育て環境整備事業(児童小公園)	事業番号	12269
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の子どもたち
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市内各町会が管理・運営している児童小公園に設置した遊具について、修繕、撤去及び新設などの整備を行い、子どもたちの安全な遊び場の確保を図る。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	子どもたちの児童小公園の利用が促進し、屋外で遊ぶ子どもたちの心身の健全育成が図られるとともに、町会などと連携した地域による子育ても進むことから、地域コミュニティの活性化が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H29)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 児童小公園の遊具の整備数(修繕)	18基	-	-	14基	4基	1基	18基	-
2 児童小公園の遊具の整備数(新設)	6基	-	-	0基	3基	2基	6基	-
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
内訳	国道支出金	※再掲(事業費は1-3で計上)						
	地方債							
	その他							
	一般財源							
人員(人工)								
職員人件費	(=人員(人工) × 7,673 千円)							
総事業費(=事業費+職員人件費)								
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)								
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	■検討中 □見直し・改善済み □見直しをしたが改善に至っていない □検討していない
見直しの内容など	市内12箇所の児童小公園に設置している遊具中、整備が必要なものから計画的に修繕等を行っている。なお、令和3年4月に実施の遊具定期点検の結果、新安全基準に合致しない13基の遊具を撤去することとしたことから、事業終了予定の令和4年度以降も継続して新規遊具の必要があると考える。また、今後の遊具の状態や公園の状況等によっては、整備の優先順位を変更するなど、整備計画を更に見直す必要がある。
今後の動向・市民ニーズなど	少子化や地域コミュニティの停滞が社会問題となっている中、地域に根ざした児童小公園の整備は子どもたちに安全な遊びの場を提供するとともに、地域による子育てや地域コミュニティの活性化につながっている。また、遊具の安全基準改定により遊具を撤去したことから、新規の遊具設置を要望する町会もあり、市民ニーズは高い。

5 事務事業の評価

	■結びついている □一部結びついている □結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	子どもたちが屋外で遊ぶ機会が減少している今日において、児童小公園整備は安心、安全な遊びの場を提供し、子どもたちが屋外で健全に遊ぶきっかけづくりとなっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	□可能 □一部可能 ■不可能 児童小公園に設置している遊具は教育委員会が貸出し点検と修繕等を行っているが、それ以外の公園の維持管理は町会が行っている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	■ある □一部ある □ない 令和3年6月現在、12箇所の児童小公園に28基の遊具を設置しており、修繕が必要なもの及び新規設置が必要なものから計画的に整備を行っているが、遊具の状態や公園の状況等によっては整備の優先順位を変更する必要もある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	□ある ■一部ある □ない 各公園に設置している遊具について、日頃からの点検や状態把握の徹底及び効果的な小破修繕等により、良好な状態を維持できることから、整備に係る費用の抑制が図られる。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	□ある □一部ある ■ない 本事業の目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似した事業がない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	□ある □検討の必要性がある ■ない □既に負担がある 町会が管理する児童小公園に遊具を貸代していることから、費用負担を求めべきではないと考えている。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	□現状のまま継続 ■見直しのうえで継続 (■拡充 □手段を見直す □効率化 □簡素化 □統合・振替) □終期設定あり (R 年度末終了予定) □休止 □廃止 □完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)				
事務事業名	子どもの社会教育参加促進事業	事業番号	12378		
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	幼児(3歳以上)、小学生
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	市内の子どもたち(3歳以上の幼児及び小学生)を対象に、市内で開催される社会教育関係をはじめとした各種事業への参加や市内外の社会教育施設の見学を奨励し、子どもたちが学ぶ力や考える力、変化に対応した生き抜く力を伸ばし、豊かな人間性や社会性を身につけられるよう、本事業を実施している。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	各種社会教育関係事業の内容に応じて参加した子どもたちにポイントを付与し、一定のポイント数により称号を授与することにより、社会教育関係事業等への参加促進が図られ、ひいては子どもたちが将来に向けて必要となる社会的自立や社会への積極的な参加が促進される。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 わんぱくチャレンジ対象事業件数	484件	483件	502件	471件	461件	139件	500件	500件
2 わんぱくチャレンジ認定者(延べ人数)	105人	79人	58人	38人	47人	7人	110人	110人
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
		187		47		199		
内訳	国道支出金							
	地方債							
	その他	187		47				
	一般財源							199
人員(人工)				0.17		0.17		0.17
職員人件費(=人員(人工)×7,673千円)				1,304		1,304		1,304
総事業費(=事業費+職員人件費)				1,491		1,351		1,503
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				11		10		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				213		193		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	少子化や人口減少の影響により子どもたちの減少や、SNS等の普及による直接他人とかわからない「個」での活動が増えたことに伴い、本事業への参加者数も減少傾向にあるため、ポイント付与の方法や魅力的な対象事業の掘り起こし、わんぱくチャレンジ認定者への対応方策、また、本事業が目指している、子どもの社会参加の一層の促進について、見直しすべく検討中である。
今後の動向・市民ニーズなど	本事業は、根室の将来を担う子どもたちが、人間性や社会性を育むうえで重要な体験活動や各種施設見学等に積極的に参加する動機付けとなっており、また、そうした活動を通じて家庭だけでなく、地域の方々とのコミュニケーションも図られていることから、市民ニーズは高いと考えられる。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない スポーツ・文化・学習をはじめ、様々な体験活動に参加した子どもたちは、保育所、幼稚園及び小学校の集会等で参加回数に応じた称号が授与されることから、本人はもとより、他の子どもたちの社会教育事業への参加意欲の向上につながっており、一定程度の成果に結びついていると考えられる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 公共機関や学校、地域団体など公共公益機関での連携協力が不可欠であり、外部委託等はなじまないと考えられる。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 少子化や人口減少の影響により子どもたちの数が減少し、SNSの急速な普及により直接他人とかわからない「個」での活動が増えたことなどから、本事業への参加者数は減少傾向にある。そのため、効果的なPRや魅力的な対象事業の掘り起こしを行うなどの参加率及び参加者数を高める取組が必要と考えている。また、令和2年度においては、全国的な新型コロナウイルスの流行に伴い、感染拡大防止の観点から事業が実施できなかった。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 事業費を最大限に圧縮し予算編成をしていることから、これ以上のコスト削減は難しいものがあるが、状況に応じた効率的、かつ、効果的な事業の実施を検討しながら引き続き行って行きたい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 本事業の目的及び効果を勘案すると、統合し得る類似事業がないと考えられる。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 本事業は、子どもたちの社会教育関係事業をはじめとした、様々な体験・学習活動等への参加促進を目的としていることから、その性質上費用負担を求めることは望ましいものではないと考える。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和3年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和2年度】

主管課名(担当名)	社会教育課(社会教育担当)		
事務事業名	花咲放課後教室整備事業	事業番号	12819
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-10 青少年の健全育成
	施策目標	地域で青少年を育む環境が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市内の児童
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	令和4年度より花咲小学校の旧啓雲中学校への移転に伴い空き教室が不足し、校内に放課後教室の開設が困難となることから、敷地内の校舎東側に放課後教室を新築するため、令和2年度に測量及び実施設計、令和3年度に新築工事を行い、児童が安心・安全に放課後を過ごせる居場所づくりを推進する。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	国の「新・放課後子ども総合プラン」を基本とした「根室市放課後子どもプラン」を推進し、保護者の就労や疾病、介護等により昼間家庭での養育を受けることができない児童をはじめ、全ての児童が放課後等に安心・安全な居場所を得られるほか、様々な体験活動や交流活動等をととして児童の健全育成が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(R1)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H28	H29	H30	R1	R2		
1 測量及び実施設計進捗率	0%	-	-	-	-	100%	100%	-
2 花咲放課後教室建設進捗率	0%	-	-	-	-	-	0%	100%
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		R2予算		R2決算		R3予算		
		21,692		18,311		249,414		
内訳	国道支出金							
	地方債					249,400		
	その他							
	一般財源	21,692		18,311		14		
人員(人工)				0.17		0.17		0.17
職員人件費(=人員(人工)×7,673千円)				1,304		1,304		1,304
総事業費(=事業費+職員人件費)				22,996		19,615		250,718
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				230		196		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				-		-		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input checked="" type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	本事業は計画のとおり、令和2年度に測量及び実施設計を完了し、令和3年度に新築工事を行い、令和4年度の供用開始を目指します。
今後の動向・市民ニーズなど	子育て世帯の核家族化や共働き世帯、ひとり親世帯が増加しているほか、ワークライフバランスや働き方改革等の推進により、子どもを持つ保護者からのニーズはさらに高まっていくことが予想され、留守家庭児童会等や放課後教室等の利用は、今後も増加すると考えられる。

5 事務事業の評価

	<input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	本事業は、令和4年度の供用開始に向けて、計画どおり令和2年度に測量及び実施設計を完了し、令和3年度に新築工事を行います。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 本事業は、子どもの教育・健全育成を目的として、市教委が開設しているものであり、市において実施すべきである。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 事前評価の計画どおり、令和2年度に測量及び実施設計を完了し、令和3年度に新築工事を行います。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 条件付一般競争入札等の執行による入札減が見込まれる。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 放課後教室等は、子どもの教育・健全育成を目的として、市教委が開設しているものであり、市において本事業を実施すべきである。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 放課後教室等は、子どもの教育・健全育成を目的として、市教委が開設しているものであり、市において本事業の費用を負担すべきである。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和3年6月